

自分の花を咲かせよう

第22号
令和3年12月22日(水)
文責：森田美貴子

生きているだけで100点満点



先日、性教育講演会を行いました。講演会では、身体のしくみとともに私たち一人ひとりの命がどんなに厳しい競争を勝ち抜いて受精したか、小さな受精卵が守られて大きくなり、どうやってここまでの成長を遂げてきたかを丁寧に教えていただきました。言葉にすれば簡単で、自分がここにいることがあたりまえのように感じますが、実は“あたりまえではない”ことに気づかされたと思います。君たちは頑張って生まれてきて、頑張って生きている。それだけで100点満点！普段は忘れていても、心の奥で大事に温めておいてください。

～生徒の感想より（抜粋）～

- 「私」は様々な困難を乗り越えて生まれてきた「奇跡」なんだと思いました。
- もし自分が結婚して、子供ができたなら精一杯手助けをして、生まれてきた赤ちゃんとパートナーにたくさん「ありがとう」と言いたいと思いました。
- 今、楽しいこと、嬉しいこと、嫌なことが感じられるのは、母が命懸けで産んでくれたからだということも分かりました。
- 知らないことのほうが多くて、出産は死と隣り合わせということも初めて知りました。
- 生きていることは当たり前のように感じるけど、特別なことだと思いました。
- 自分の最後の日まで一生けんめい生きること、日々を大事にしようと思いました。